

見切り発車のユニット

mikiriがぎゃらりい畦でライブコンサート

4月14日、福津市在住の青木悟さんと篠栗町在住の桑野真帆さんがコンビを組んでいるユニット「mikiri」が、ぎゃらりい畦でライブコンサートを行いました。青木さんの透明感のある歌声と桑野さんのふんわりとした温かい歌声が、気持ちの良く響いていました。

この場所では2回目のライブ。前回、コンサートに来ていたお客さんからは「8カ月前よりも格段にうまくなっている」という声も聞かれました。



▲ぎゃらりい畦に、30人以上の聴衆が訪れて満員状態

49年余りの歴史に幕

福岡保育所の閉所式がありました

昭和39年の開所以来、多くの子どもたちが巣立った福岡保育所の閉所式が3月17日にありました。当日は在園児や卒園児、その保護者、歴代園長など、会場に入りきれないほど多くの人が来園。保育所の運営に携わったかたがたの話や折々の写真を通じて今までの歩みを振り返りながら、たくさんの思い出が詰まった福岡保育所との別れを惜しんでいました。4月からは社会福祉法人進知会「双葉保育園」として運営が引き継がれています。



▲福岡保育所への感謝の言葉を伝える子どもたち

見守り協定を締結

災害時における応急対応活動、高齢者等地域住民の見守り活動に関する協定



▲左から小山福津市長、株式会社ジェネッツ深澤社長、谷井宗像市長

4月3日、株式会社ジェネッツと福津市、宗像市の三者が宗像地区事務組合で災害時における応急対応活動、高齢者等地域住民の見守り活動に関する協定の締結式を行いました。株式会社ジェネッツは、水道の検針時に地域住民の異変を察知した場合は、市に報告します。また、大規模な風水害が起こったときは、災害応急対策活動を実施します。

株式会社ジェネッツ深澤社長は「災害時には自社のヒト・モノ・カネ・ノウハウ・情報などの財産を使って災害復旧に当たります」と話していました。

自然を呼び戻すためのプロジェクト

畦町の池にシガラミが組まれました

3月24日、唐津街道畦町宿の街並みを保存する会が、畦町の祇園神社の横の池に「シガラミ」を組みました。

松の杭を池の周りに打ち込み、均等に割られた竹を杭の間に互い違いに編むように入れていきました。

この日は、その他にシガラミのほかに橋に使う丸太の皮むきが行われていました。



▲近くで伐採した竹を使って、見事に組み上がったシガラミ



金子孝信教育長が再任されました



金子孝信教育長

昭和24年10月30日生
昭和52年 福岡小学校教諭
平成元年 福岡教育事務所指導主事
平成8年 福岡小学校校長
平成19年 宗像区小学校長会会長
平成21年 福津市教育長に就任

金子教育長に決意を語ってもらいました。

平成23年6月に、すべての小中学校で家庭・地域と学校とが共働して、地域ぐるみで教育を進めていくコミュニティ・スクールをスタートさせることができました。市が掲げる「人を、明日を、誇るまち。福津」の実現や「夢や希望を持ち、健やかに育つ子ども」の育成のために、今後、コミュニティ・スクールの仕組みが大きな原動力になると確信しております。福津市の強みは、なんといっても市民の皆さんが自分たちの地域を愛し魅力的なコミュニティを築いていく郷づくり推進協議会と郷育カレッジ。これらは地域のひと・もの・ことをつなぎ、子どもたちに、そして市民に活力を与えます。これら二つの強みを大いに生かし、発展させることがコミュニティ・スクールとして動き始めている福津市の小中学校の発展に必ずや寄与するものと信じています。私はその実現のために心血を注いでいきます。『行きたい学校、帰りたい家庭、住みたい地域』をみんなで作っていきましょう。

市民広報ボランティア



あんず祭

あんずの里では「歌って、踊って、おいしく食べよう」という、あんず祭が3月17日開催されました。

穏やかな天気に恵まれてあんずの花が満開、駐車場に入る車の長い列が続いています。歌やダンスでイベントも盛りだくさん。生産者による手づくりの餅やぜんざい、焼きそばなどで楽しさいっぱいです。チャリティーだんで汁には長い行列ができていました。

【福岡信一】



宗像看護専門学校卒業式

3月1日、宗像看護専門学校の看護学生86人の卒業式が厳粛に執り行われました。

卒業証書を校長先生から受け取る姿に、学業と病院研修の3年間の重みを感じ取ることができました。

校長の式辞では、「医療関係者である我々は、チームの連携を密にして、患者を中心にした医療を行う使命がある。これから広い視野を養うことに努めてください」と結んでいました。

【山本武利】



たったひとつの切り絵展

3月21日～24日、市立図書館2階ギャラリーで深江新太郎さんの個展が開かれました。自ら温めていた絵にデザインナイフを入れ、切り絵の作品を作る深江さん。優しく温かい作品が並んでいました。福津市に魅力を感じ、これからは福津に根付いて活動をなさるそうです。この個展は福津での第一歩だそうです。福津の良さを切り絵で表現し、多くの人に福津をアピールして欲しいと思いました。

【中山和恵】

わが家のたからもの



はなだ ちひさ
花田 千紘ちゃん
平成22年5月16日生

在自区
ちいちゃん3歳のお誕生日お
めでとう!
これからもお兄ちゃんと仲良
く、元気に大きくなってね。



つのおき しゅんた
角沖 駿太朗ちゃん
平成24年5月21日生

光陽台6区
1歳のお誕生日おめでとう。
皆に愛される心の優しい子に
育ってね!

募集しています

●広報ふくつでは「みんな大好きわが家の宝」に登場してくれる1歳から4歳程度のお子さんを募集しています。●「〇月号に載せて」という場合を除き、締め切りはありません。申し込みいただいた後の最新号に掲載します。●誕生月など、掲載号をご指定の場合は、誕生月の前月1日までに申し込みください。●お子さんのお名前・住所(行政区)・生年月日・お子さんのお気に入り(好きなものなんでも)に写真を添えて申し込みください。申込・問い合わせ 市広報秘書課(福岡庁舎) ☎43・8113

子どもたちによる子どもたちのための施設

児童センターFUCSTAがオープン

3月31日、ふくとびあに隣接する新しい施設「児童センターFUCSTA」がオープンし、オープニングセレモニーに100人を超える多くの人々が来場しました。来場者が“のぼり”を自由にデザインするコーナーや“魔法の板”カプラを使ったショー、焼きそばコーナーなどは子どもたちの歓声であふれていました。FUCSTAには基本設計の段階から子どもたちが関わっており、今後の運営や企画も子どもたちが中心となってやっていきます。



▲全員でバレーンリリース。オープンを祝いました

日々の努力が実を結ぶ

第38回全日本バトントワリング選手権大会に出場



▲左が松尾果南さん

3月29日から31日に開催された第38回全日本バトントワリング選手権大会で津屋崎小学校の松尾果南さん(5年生)が、ペアの部で2位という素晴らしい成績を修められました。毎週木曜日は津屋崎体育センターで行われているレッスンに通い、他の日は毎日2時間の自主練習をしているということです。

松尾さんは「大きな大会で緊張しましたが、持っている力は出し切れたと思います。来年も全国大会に出場したいです」と語っていました。

日頃の努力を発表

第6回福津市生涯学習発表会が開催されました



▲「英語で熱唱!」英会話サークルの発表

3月16、17日市中央公民館で、第6回福津市生涯学習発表会が開催されました。展示部門では茶道体験や陶芸、フラワーデザイン、切り絵、絵画、てんこく、パッチワーク、写真など力作が展示されました。舞台部門では、ダンスや歌、楽器演奏などが披露され、両部門を合わせると300人を超える参加がありました。各サークルの皆さんの日頃の学習の成果が発揮された発表会となりました。



あなたの周りの身近な出来事や
話題をお寄せください。

まちのわだい

〒811-3293(住所不要) ☎43・8113
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行

津屋崎中学校男子バスケットボール部が九州大会初出場 3位

津屋崎中学校男子バスケットボール部員が福岡県チームの代表メンバーに選ばれました

3月15日から17日に長崎県で開催された第33回全九州中学生バスケット春季選手権大会に、津屋崎中学校男子バスケットボール部が初出場しました。結果は、準決勝で鹿児島県代表緑丘中学校と接戦の末59対60で敗れ、3位になりましたが「この大会での悔しい経験を生かして、夏の大会では、全国大会決勝の舞台を目指します」と、主将の児玉さんが語っていました。

また、3月28日から30日に東京都で開催された第26回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に、部員のこだまおさむ、ほそたきたくと、児玉修さんと細瀧拓利さんが、福岡県代表として出場されました。福岡県チームは準決勝で敗れ、3位となりました。



▲津屋崎中学校男子バスケットボール部の皆さん



▲確実なシュートを決めることができる細瀧さん



▲鋭いドライブを得意とする児玉さん

写真：(株)共同写真企画提供

身近にいる生命を感じてもらうために

うみがめクラブがカスミサンショウウオの経過報告

3月27日、中央公民館で光陵高校のうみがめクラブ(部員6人)がカスミサンショウウオの観察経過報告会を行いました。

手光ビオトープに小さな氷たまりを作って、カスミサンショウウオの産卵を誘因したことや、卵の発見から幼生までの経過を写真で報告していました。

報告会の後、ビオトープの維持などの活動をしている「どじょうクラブ」の会員が摘んだ春の野草の天ぷらを一緒に食べて交流しました。光陵高校生は、初めての野草に、うれしそうな表情を浮かべて食べていました。



▲ビオトープに足を運んでカスミサンショウウオを観察した光陵高校うみがめクラブのメンバー



▲観察経過を報告する光陵高校うみがめクラブの顧問の井上先生(4月1日から玄界高校へ異動されました)